

改正

昭和28年12月28日条例第44号
昭和40年3月26日条例第22号
昭和46年7月13日条例第25号
昭和53年3月27日条例第4号
昭和59年3月30日条例第11号
昭和63年3月22日条例第15号
平成9年3月27日条例第18号
平成12年3月28日条例第46号
平成13年12月21日条例第77号
平成15年7月14日条例第46号
平成16年3月25日条例第11号
平成16年7月12日条例第41号
平成17年3月28日条例第45号
平成17年7月11日条例第55号
平成18年3月28日条例第24号
平成19年3月7日条例第3号
平成21年3月30日条例第18号
平成24年3月27日条例第44号
平成25年3月29日条例第29号
平成26年3月28日条例第58号
平成26年12月22日条例第119号
平成30年3月28日条例第30号
平成31年3月26日条例第39号
令和2年3月27日条例第22号
令和4年3月29日条例第13号
令和6年3月27日条例第49号
令和7年12月22日条例第83号

道路占用料徴収条例をここに公布する。

道路占用料徴収条例

(趣旨)

第1条 この条例は、道路法（昭和27年法律第180号。以下「法」という。）第39条の規定に基づき、道路の占用料に関し必要な事項を定めるものとする。

全部改正〔昭和46年条例25号〕、一部改正〔昭和53年条例4号〕

(占用料の額)

第2条 占用料の額は、別表占用料の欄に定める金額に、法第32条第1項又は第3項の規定により許可をした占用の期間（電線共同溝の整備等に関する特別措置法（平成7年法律第39号）第2条第3項に規定する電線共同溝に係る占用料にあつては、同法第10条、第11条第1項又は第12条第1項の規定により許可をした占用することができる期間（当該許可に係る電線共同溝への電線の敷設工事を開始した日が当該許可をした日と異なる場合には、当該敷設工事を開始した日から当該占用することができる期間の末日までの期間）。以下同じ。）に相当する期間を同表占用料の単位の欄に定める期間で除して得た数を乗じて得た額（その額が100円に満たない場合にあつては、100円）とする。ただし、当該占用の期間が翌年度以降にわたる場合においては、同表占用料の欄に定める金額に、各年度における占用の期間に相当する期間を同表占用料の単位の欄に定める期間で除して得た数を乗じて得た額（その額が100円に満たない場合にあつては、100円）の合計額とする。

全部改正〔昭和46年条例25号〕、一部改正〔平成9年条例18号・12年46号・26年58号〕

(占用料金の特例)

第3条 知事において占用物件又は施設が公共の用に供せられるとき、又はその他特別の事情がある

と認めるときは、前条の規定にかかわらず、同条に規定する額の範囲内において別に占用料の額を定め、又は占用料を徴収しないことができる。

一部改正〔昭和46年条例25号〕

(占用料の返還)

第4条 占用の期間中において許可若しくは承認を取り消したとき、又は天災事故により占用ができないと認めるときは、月割りにより料金を還付することができる。

一部改正〔昭和46年条例25号・平成9年18号〕

(徴収方法)

第5条 道路占用料の徴収方法については、知事が定める。

一部改正〔昭和46年条例25号〕

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

一部改正〔平成18年条例24号〕

2 地方自治法（昭和22年法律第67号）第7条の規定に基づく市町村の廃置分合又は市町村の境界変更（以下「廃置分合等」という。）により別表占用料の所在地の区分に変更があった区域内において、当該廃置分合等が行われた日に法第32条第1項又は第3項の規定による許可を受け、現に存する占用物件（以下「既存占用物件」という。）に係る当該廃置分合等が行われた日の属する年度（当該廃置分合等が行われた日が年度の初日である場合にあっては、当該年度の前年度。以下「廃置分合等年度」という。）の翌年度以後の各年度の占用料の額は、当該既存占用物件ごとに第2条又は第3条の規定を適用して算定した占用料の額が、当該廃置分合等年度においてこれらの規定を適用して算定したとした場合の占用料の額に当該廃置分合等年度の翌年度から当該各年度までの年度の数で1.2を累乗して得た数を乗じて得た額（以下「廃置分合等特例額」という。）を超える場合には、これらの規定にかかわらず、当該廃置分合等特例額とする。

追加〔平成18年条例24号〕、一部改正〔平成26年条例58号・119号〕

附 則（昭和28年12月28日条例第44号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和40年3月26日条例第22号）

この条例は、昭和40年4月1日から施行する。

附 則（昭和46年7月13日条例第25号）

改正

昭和53年3月27日条例第4号

この条例は、昭和46年8月1日から施行する。

一部改正〔昭和53年条例4号〕

附 則（昭和53年3月27日条例第4号）

1 この条例は、昭和53年4月1日から施行する。

2 道路占用料徴収条例の一部を改正する条例（昭和46年岩手県条例第25号）の一部を次のように改正する。

次のよう（省略）

附 則（昭和59年3月30日条例第11号）

この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年3月22日条例第15号）

この条例は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成9年3月27日条例第18号）

改正

平成13年12月21日条例第77号

平成16年3月25日条例第11号

平成16年7月12日条例第41号

平成17年3月28日条例第45号

平成17年7月11日条例第55号

平成18年3月28日条例第24号

平成21年 3 月30日 条例第18号

この条例は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

一部改正〔平成18年条例24号・21年18号〕

附 則（平成12年 3 月28日 条例第46号抄）

（施行期日）

第 1 条 この条例は、平成12年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成13年12月21日 条例第77号）

この条例は、平成14年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成15年 7 月14日 条例第46号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成16年 3 月25日 条例第11号）

この条例は、平成16年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成16年 7 月12日 条例第41号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成17年 3 月28日 条例第45号抄）

- 1 この条例中（中略）第19条（中略）の規定は同年〔平成17年〕 9 月 1 日から、（中略）第20条（中略）の規定は同年10月 1 日から施行する。

附 則（平成17年 7 月11日 条例第55号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日から施行する。

- （1）（前略）第49条（中略）の規定 平成17年 9 月20日
- （2）（前略）第50条（中略）の規定 平成17年11月 1 日
- （3）（前略）第51条（中略）の規定 平成18年 1 月 1 日
- （4）（省略）
- （5）（前略）第52条（中略）の規定 平成18年 2 月20日
- （6）（前略）第53条（中略）の規定 平成18年 3 月 6 日

附 則（平成18年 3 月28日 条例第24号）

- 1 この条例は、平成18年 4 月 1 日から施行する。
- 2 道路占用料徴収条例の一部を改正する条例（平成 9 年岩手県条例第18号）の一部を次のように改正する。

次のよう（省略）

附 則（平成19年 3 月 7 日 条例第 3 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成21年 3 月30日 条例第18号）

- 1 この条例は、平成21年 4 月 1 日から施行する。
- 2 道路占用料徴収条例の一部を改正する条例（平成 9 年岩手県条例第18号）の一部を次のように改正する。

次のよう（省略）

附 則（平成24年 3 月27日 条例第44号）

この条例は、平成24年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成25年 3 月29日 条例第29号）

この条例は、平成25年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成26年 3 月28日 条例第58号）

この条例は、公布の日から施行する。ただし、表 2 の項の改正部分は、平成26年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成26年12月22日 条例第119号）

- 1 この条例は、平成27年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この条例の施行の際、道路法（昭和27年法律第180号）第32条第 1 項又は第 3 項の規定による許可を受けて現に存する占用物件（以下「既存占用物件」という。）に係る平成27年度以後の各年度の占用料の額は、当該既存占用物件ごとにこの条例による改正後の道路占用料徴収条例（以下「改正

後の条例」という。)第2条又は第3条の規定を適用して算定した占用料の額が、この条例による改正前の道路占用料徴収条例第2条又は第3条の規定を適用して算定したとした場合の占用料の額に平成27年度から当該各年度までの年度の数で1.2を累乗して得た数を乗じて得た額(以下「経過措置額」という。)を超える場合には、改正後の条例第2条又は第3条の規定にかかわらず、当該経過措置額とする。

附 則 (平成30年3月28日条例第30号)

- 1 この条例は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 この条例の施行の際、道路法(昭和27年法律第180号)第32条第1項又は第3項の規定による許可を受けて現に存する占用物件(以下「既存占用物件」という。)(当該既存占用物件ごとにこの条例による改正前の道路占用料徴収条例第2条又は第3条及び道路占用料徴収条例の一部を改正する条例(平成26年岩手県条例第119号)附則第2項の規定を適用して算定したとした場合における平成30年度の占用料の額が同項に規定する経過措置額(以下「経過措置額」という。)となるものに限る。)に係る同年度の占用料の額は、当該既存占用物件ごとにこの条例による改正後の道路占用料徴収条例(以下「改正後の条例」という。)第2条又は第3条の規定を適用して算定した占用料の額が当該経過措置額を超える場合は、改正後の条例第2条又は第3条の規定にかかわらず、当該経過措置額とする。

附 則 (平成31年3月26日条例第39号)

この条例は、平成31年10月1日から施行する。

附 則 (令和2年3月27日条例第22号)

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

附 則 (令和4年3月29日条例第13号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (令和6年3月27日条例第49号)

この条例は、令和6年4月1日から施行する。

附 則 (令和7年12月22日条例第83号)

この条例は、公布の日から施行する。

別表 (第2条関係)

占用物件		占用料			
		単位	所在地		
			第1級地	第2級地	第3級地
法第32条第1項第1号に掲げる工作物	第1種電柱	1本につき1年	580	550	550
	第2種電柱		890	850	840
	第3種電柱		1,200	1,100	1,100
	第1種電話柱		520	490	490
	第2種電話柱		830	790	780
	第3種電話柱		1,100	1,100	1,100
	その他の柱類		52	49	49
	共架電線その他上空に設ける線類	長さ1メートルにつき1年	5	5	5
	地下に設ける電線その他の線類		3	3	3
	路上に設ける変圧器	1個につき1年	510	480	480
	地下に設ける変圧器	占用面積1平方メートルにつき1年	310	300	290
	変圧塔その他これに類するもの及び公衆電話所	1個につき1年	1,000	990	980
	郵便差出箱及び信書便差出箱		430	410	410
	広告塔	表示面積1平方メートルにつき	2,100	770	670

			1 年				
	その他のもの		占用面積 1 平方メートルにつき 1 年	1,000	990	980	
法第32条第 1 項第 2 号に掲げる物件	外径が0.07メートル未満のもの		長さ 1 メートルにつき 1 年	22	21	21	
	外径が0.07メートル以上0.1メートル未満のもの			31	30	29	
	外径が0.1メートル以上0.15メートル未満のもの			47	44	44	
	外径が0.15メートル以上0.2メートル未満のもの			62	59	59	
	外径が0.2メートル以上0.3メートル未満のもの			93	89	88	
	外径が0.3メートル以上0.4メートル未満のもの			120	120	120	
	外径が0.4メートル以上0.7メートル未満のもの			220	210	210	
	外径が0.7メートル以上 1 メートル未満のもの			310	300	290	
	外径が 1 メートル以上のもの			620	590	590	
法第32条第 1 項第 3 号及び第 4 号に掲げる施設			占用面積 1 平方メートルにつき 1 年	1,000	990	980	
法第32条第 1 項第 5 号に掲げる施設	地下街及び地下室	階数が 1 のもの	Aに0.004を乗じて得た額				
		階数が 2 のもの		Aに0.006を乗じて得た額			
		階数が 3 以上のもの			Aに0.007を乗じて得た額		
	上空に設ける通路			1,000		380	330
	地下に設ける通路			630		230	200
	その他のもの			1,000	990	980	
法第32条第 1 項第 6 号に掲げる施設	祭礼、縁日その他の催しに際し、一時的に設けるもの		占用面積 1 平方メートルにつき 1 日	21	8	7	
	その他のもの		占用面積 1 平方メートルにつき 1 月	210	77	67	
道路法施行令（昭和27年政令第479号。以下「政令」という。）第 7 条第 1 号に掲げる物件	看板（アーチであるものを除く。）	一時的に設けるもの	表示面積 1 平方メートルにつき 1 月	210	77	67	
		その他のもの	表示面積 1 平方メートルにつき 1 年	2,100	770	670	
	標識		1 本につき 1 年	830	790	780	
	旗ざお	祭礼、縁日その他の催しに際し、一時的に設けるもの	1 本につき 1 日	21	8	7	
		その他のもの	1 本につき 1 月	210	77	67	

	幕（政令第7条第4号に掲げる工事用施設であるものを除く。）	祭礼、縁日その他の催しに際し、一時的に設けるもの	その面積1平方メートルにつき1日	21	8	7
		その他のもの	その面積1平方メートルにつき1月	210	77	67
	アーチ	車道を横断するもの	1基につき1月	2,100	770	670
		その他のもの		1,000	380	330
政令第7条第2号に掲げる工作物			占用面積1平方メートルにつき1年	1,000	990	980
政令第7条第3号に掲げる施設				Aに0.031を乗じて得た額		
政令第7条第4号に掲げる工事用施設及び同条第5号に掲げる工事用材料			占用面積1平方メートルにつき1月	210	77	67
政令第7条第6号に掲げる仮設建築物及び同条第7号に掲げる施設				100	99	98
政令第7条第8号に掲げる施設	トンネルの上又は高架の道路の路面下に設けるもの		占用面積1平方メートルにつき1年	Aに0.012を乗じて得た額	Aに0.014を乗じて得た額	Aに0.017を乗じて得た額
	上空に設けるもの			Aに0.017を乗じて得た額		
	地下（トンネルの上の地下を除く。）に設けるもの	階数が1のもの		Aに0.004を乗じて得た額		
		階数が2のもの		Aに0.006を乗じて得た額		
		階数が3以上のもの		Aに0.007を乗じて得た額		
	その他のもの			Aに0.025を乗じて得た額		
政令第7条第9号に掲げる施設	建築物			Aに0.015を乗じて得た額	Aに0.019を乗じて得た額	Aに0.022を乗じて得た額
	その他のもの			Aに0.011を乗じて得た額	Aに0.014を乗じて得た額	Aに0.015を乗じて得た額
政令第7条第11号に掲げる応急仮設建築物	トンネルの上又は高架の道路の路面下に設けるもの			Aに0.015を乗じて得た額	Aに0.019を乗じて得た額	Aに0.022を乗じて得た額
	上空に設けるもの			Aに0.022を乗じて得た額		

	その他のもの		Aに0.031を乗じて得た額
政令第7条第12号に掲げる器具			Aに0.025を乗じて得た額
政令第7条第14号及び第15号に掲げる施設			Aに0.031を乗じて得た額

備考1 金額の単位は、円とする。

- 2 所在地とは、占有物件の所在地をいい、その区分は、次のとおりとし、各年度の初日後に占有物件の所在地の区分に変更があった場合は、同日におけるその区分によるものとする。
 - (1) 第1級地 盛岡市及び紫波郡矢巾町の区域をいう。
 - (2) 第2級地 北上市、奥州市、滝沢市及び胆沢郡金ヶ崎町の区域をいう。
 - (3) 第3級地 第1級地及び第2級地以外の市町村の区域をいう。
- 3 第1種電柱とは、電柱（当該電柱に設置される変圧器を含む。以下同じ。）のうち3条以下の電線（当該電柱を設置する者が設置するものに限る。以下この備考3において同じ。）を支持するものを、第2種電柱とは、電柱のうち4条又は5条の電線を支持するものを、第3種電柱とは、電柱のうち6条以上の電線を支持するものをいうものとする。
- 4 第1種電話柱とは、電話柱（電話その他の通信又は放送の用に供する電線を支持する柱をいい、電柱であるものを除く。以下同じ。）のうち3条以下の電線（当該電話柱を設置する者が設置するものに限る。以下この備考4において同じ。）を支持するものを、第2種電話柱とは、電話柱のうち4条又は5条の電線を支持するものを、第3種電話柱とは、電話柱のうち6条以上の電線を支持するものをいうものとする。
- 5 共架電線とは、電柱又は電話柱を設置する者以外の者が当該電柱又は電話柱に設置する電線をいうものとする。
- 6 表示面積とは、広告塔又は看板の表示部分の面積をいうものとする。
- 7 Aは、近傍類似の土地の時価を表すものとする。
- 8 表示面積、占有面積若しくは占有物件の面積若しくは長さが0.01平方メートル若しくは0.01メートル未満であるとき、又はこれらの面積若しくは長さに0.01平方メートル若しくは0.01メートル未満の端数があるときは、その全面積若しくは全長又はその端数の面積若しくは長さを切り捨てて計算するものとする。
- 9 占有料の額が年額で定められている占有物件に係る占有の期間が1年未満であるとき、又はその期間に1年未満の端数があるときは月割りをもって計算し、なお、1月未満の端数があるときは1月として計算し、占有料の額が月額で定められている占有物件に係る占有の期間が1月未満であるとき、又はその期間に1月未満の端数があるときは1月として計算するものとする。
- 10 占有の期間が1月未満のものについての占有料の額は、占有料の欄に定める金額に、当該占有の期間に相当する期間を占有料の単位の欄に定める期間で除して得た数を乗じて得た額に1.1を乗じて得た額（その額が100円に満たない場合にあつては、100円）とする。ただし、当該占有の期間が翌年度にわたる場合においては、占有料の欄に定める金額に、各年度における占有の期間に相当する期間を占有料の単位の欄に定める期間で除して得た数を乗じて得た額に1.1を乗じて得た額（その額が100円に満たない場合にあつては、100円）の合計額とする。